



日本プライマリ・ケア連合学会  
九州ブロック支部



発行人:支部長 瀬戸 信二  
社会医療法人春回会

## 活動報告

### 【佐賀県】

#### 日本プライマリ・ケア連合学会佐賀県支部 活動報告

##### 1. 佐賀県支部会員数

医師：36名 歯科医師：1名 薬剤師：2名 その他：3名 計：42名（令和5年3月現在）

##### 2. 活動報告

会名称/日程	内容		参加人数
佐賀県支部 第7回学術集会  2022年12月10日(土) 13:45~17:40 ハイブリッド開催 会場：ホテルマリターレ創世	シンポジウム 「佐賀県のCOVID-19× プライマリ・ケア、総合診療」	座長：多胡 雅毅 藤原 元嗣 (佐賀大学医学部附属病院 総合診療部) 演者：阪本 雄一郎 (佐賀大学医学部 救急医学講座) 阿部 智介 (医療法人慈孝会七山診療所) 織田 良正 (社会医療法人 祐愛会織田病院) 神代 修 (社会医療法人 祐愛会 介護老人保健施設 ケアコートゆうあい)	96名
	診断推論戦略セッション 「症例検討から学ぶ診断推論戦略 by JUGLER (特別編3)」	座長：多胡 雅毅 (佐賀大学医学部附属病院 総合診療部) 司会：鋪野 紀好 (千葉大学医学部附属病院 総合診療科) ビデオレクチャー：和足 孝之 (島根大学医学部附属病院 総合診療医 センター) ディスカッサント： 志水 太郎 (獨協大学 総合診療医学) 佐々木 陽典 (東邦大学医療センター大森病院 総合 診療・急病センター) 高橋 宏瑞 (順天堂大学医学部 総合診療科) プレゼンター： 福田 ゆい (佐賀大学医学部医学科) 池田 奈瑚 (佐賀県医療センター好生 館)  指導医・レクチャー 甘利 香織 (佐賀県医療センター好生館 救急科)	

<p>第2回 JPCA 佐賀セミナー</p> <p>2023年6～7月開催予定 (WEB)</p>	<p>症例検討から学ぶ診断推論戦略 by JUGLER (特別編4)</p>	<p>座長：多胡 雅毅 (佐賀大学医学部附属病院 総合診療部)</p> <p>司会：鋪野 紀好 (千葉大学医学部附属病院 総合診療科)</p> <p>ビデオレクチャー：和足 孝之 (島根大学医学部附属病院 総合診療医 センター)</p> <p>ディスカッサント： 志水 太郎 (獨協大学 総合診療医学) 佐々木 陽典 (東邦大学医療センター大森病院 総合 診療・急病センター) 高橋 宏瑞 (順天堂大学医学部 総合診療科)</p> <p>プレゼンター：未定</p>	
<p>佐賀県支部 第8回学術集会</p> <p>2023年11月11日 (土) (ハイブリッド開催予定)</p>	<p>シンポジウム 「プライマリ・ケア×心不全(仮)」</p>	<p>座長：多胡 雅毅 藤原 元嗣 (佐賀大学医学部附属病院 総合診療部)</p> <p>演者：兼田 浩平 (佐賀大学医学部附属病院 循環器内科) 浅香 真知子 (佐賀記念病院 循環器内科)</p> <p>他未定</p>	
	<p>診断推論戦略セッション 「症例検討から学ぶ診断推論戦略 by JUGLER (特別編5)」</p>	<p>座長：多胡 雅毅 (佐賀大学医学部附属病院 総合診療部)</p> <p>司会：鋪野 紀好 (千葉大学医学部附属病院 総合診療科)</p> <p>ビデオレクチャー：和足 孝之 (島根大学医学部附属病院 総合診療医 センター)</p> <p>ディスカッサント： 志水 太郎 (獨協大学 総合診療医学) 佐々木 陽典 (東邦大学医療センター大森病院 総合 診療・急病センター) 高橋 宏瑞 (順天堂大学医学部 総合診療科)</p> <p>プレゼンター：未定</p>	

## 【鹿児島県】

### 日本プライマリ・ケア連合学会鹿児島県支部 活動報告

#### JSPEN九州支部会活動について

第12回 JSPEN九州支部学術集会は COVID-19 感染拡大により、1年延期され、2021年9月25日に、鹿児島大学地域医療学分野 教授の大脇哲洋を会長に、完全オンラインで開催されました。参加者は403名でした。第13回も完全オンラインにて、2022年9月17日、佐賀県医療センター好生館小児外科部長の山内健先生の会長の下開催され、475名の出席を得ました。

第14回は、2023年9月23日に、JR博多CITYホールにて、九州医療センターNST チェアマンの福泉公仁先生を会長に、対面で開催予定です。2024年度の第15回は久留米大学小児外科学講座教授の加治建先生、2025年度の第16回はちゅうざん病院副院長の吉田貞夫先生、2026年度は、熊本リハビリテーション

病院のサルコペニア・低栄養研究センターセンター長の吉村芳弘先生が会長として開催予定となっています。今後は対面で開催できることを、大変うれしく思います。



JSPEN 九州支部長 大脇哲洋（鹿児島大学地域医療学分野教授）

(1) 第10回鹿児島総合診療合同勉強会

日時：令和5年1月31日（火）18:00~19:30

場所：オンライン開催

主催：鹿児島総合診療合同勉強会 運営チーム

共催：日本プライマリ・ケア連合学会 鹿児島県支部会

講師：鹿児島赤十字病院 福留 啓吾 先生

かごしまオハナクリニック 横山 大輔 先生

えんでん内科クリニック 海江田 貴憲 先生

参加者：20名

(2) 第6回奄美GIMカンファレンス

日時：令和5年2月14日（火）18:00~19:30

場所：鹿児島県立大島病院研修ホール（救命救急センター4階）

主催：鹿児島県立大島病院 臨床研修センター/総合診療科

共催：日本プライマリ・ケア連合学会鹿児島市部会

ケースカンファレンス：①「上気道炎ですね、お大事に!？」

名瀬徳洲会病院総合診療科 山田一輝 先生

②「天気予想は慎重に」

鹿児島県立大島病院総合診療科 平田悠哉 先生

レクチャー：鹿児島県立大島病院総合診療科部長兼臨床研修センター長 森田喜紀 先生

参加者：35名

## 【長崎県】

### 日本プライマリ・ケア連合学会長崎県支部 活動報告

日本プライマリ・ケア連合学会長崎県支部 2023 年度第 1 回世話人会

日 時：2023 年 3 月 9 日（木）18 時 00 分～18 時 40 分

場 所：オンライン開催（Zoom）

出 席：和泉泰衛、井上圭太、押淵素子、白髭豊、瀬戸信二、高橋 優二、中桶了太、  
永田康浩、前田隆浩、森英毅、八坂貴宏、山下直宏

議題・報告事項

- ① 2023 年度長崎県支部学術集会・講演会について
- ② 会則の改定について
- ③ ホームページについて
- ④ 会員体制について
- ⑤ その他

日本プライマリ・ケア連合学会長崎県支部 2023 年度学術集会・講演会を下記の通り予定しています。

日 時：2023 年 3 月 25 日（土）9:00～17:40

場 所：長崎大学医学部

（記念講堂・ポンペ会館・視聴覚室・セミナー室・第一講義室）

プログラム：

#### 1. 第 8 回長崎県ポートフォリオ研修会（9:00～12:00） 視聴覚室・セミナー室

主 催：中桶 了太（平戸市民病院）

共 催：長崎大学病院 地域医療支援センター・総合診療科

対 象：総合診療専門研修プログラムの専攻医と指導医

- ① ポートフォリオ発表会（13 演題）
- ② 教育講演

演題：「ポートフォリオ作成のポイント～メンタルヘルス領域について～」

講師：大西 弘高 先生

東京大学医学系研究科医学教育国際研究センター 医学教育国際協力学部門

#### 2. 2023 年度学術集会・講演会

- ① 開会挨拶（13:00） 医学部記念講堂

日本プライマリ・ケア連合学会長崎県支部会 会長

長崎大学病院 総合診療科 教授 前田 隆浩

- ② 特別講演会（13:10～15:10） 医学部記念講堂

座 長：前田 隆浩

演 題：在宅ケアと看取りから学んだ 人生 100 年時代の健幸学

演 者：おおい町国民健康保健名田庄診療所 所長 中村 伸一 先生

- ③ 研究発表会（15:30～16:30） ポンペ会館

ポスターセッション（12 演題）

- ④ 総 会（16:40～17:30） 第一講義室

- ⑤ 閉会挨拶（17:30）

日本プライマリ・ケア連合学会長崎県支部会 副会長 藤井 卓




【福岡県】

日本プライマリ・ケア連合学会福岡県支部 活動報告

本イベントでは101名のPeatixの申し込みを頂きました(学会員は78名、非学会員が20名、学生が3名。JR博多シティ会議室の現地参加18名、オンライン視聴70名弱)。基調講演として、外房こどもクリニック理事長の黒木春郎先生より「オンライン診療は究極の在宅医療となるのか」というご講演を頂きました。

続いて県内の在宅医療の知見を深め、状況を共有するためのシンポジウムとして、救急救命医の背景をもつコールメディカルクリニック理事長の岩野歩先生、約4000名が居住する徳力団地で多職種連携を重視した在宅医療を続けられている徳力団地診療所院長の山家滋先生、精神科医の背景にもち認知症の在宅診療、遠隔医療に注力されております、たろうクリニック院長の内田直樹先生に、実践されておられる在宅医療の現状と課題、力を入れられている事や今後のご展望などご講演を頂戴しました。その後、本支部会の役員である杉本看護師と、上記3名の先生の4名でクロストーク並びに質疑応答を行い、求められる在宅医療とは、在宅医療ではどの程度の水準をもって欲しいかなどをテーマとしました。最後に、本支部の活動報告会として、開催したセミナーなどの活動報告、金銭管理の納納報告を行いました。さらに、これまでのセミナー開催をしていく中で、診療業務を行いながらの事務業務の負担が大きいことが問題となっていることを報告し、外部機関に委託した場合の、必要となる経費や支部会からの支給費及びセミナー開催を行いながらの想定できる調達資金を協議しました。次年度に総会を設け、この問題を含め再度、県内会員と協議していくことで参加者の承諾を得た会を終了としました。

来年、宮崎で開催されます、九州ブロック支部総会のご案内もいたしました。その次は福岡県の開催です。今後も福岡県支部の活動に協力を賜りますよう、宜しくお願い致します。

文責 JPCA 福岡県支部世話人 奥津 翔太  
同支部長 鍋島 茂樹



## 【熊本県】

### 日本プライマリ・ケア連合学会熊本県支部 活動報告

「日本プライマリ・ケア連合学会 第17回九州支部総会・学術大会」報告とお礼

熊本県支部長 緒方俊一郎

日本プライマリ・ケア連合学会 第17回九州支部総会・学術大会を2月11日(火)～12日(水)熊本支部の担当で、熊本県医師会館を会場とし、ハイブリッド開催(現地会場参加とWeb視聴の併用)で行いました。

テーマを「地域の暮らしを支えるプライマリ・ケア ～自然災害とパンデミックに向き合う!～」とし、近年頻繁に起こっている地震や豪雨災害などの自然災害や新型コロナをはじめとする様々な感染にどう対処してきたかということを中心とし、今後起こりうる事態にどう取り組むかという視点から企画しました。プライマリ・ケアの視点でこのような非日常にどう取り組むかということ念頭に、様々な視点での対応について、開業医や病院・大学、行政(保健所)としての立場での取り組みの実践をご披露いただき、今後起こりうる事態への示唆を与えていただいたと思います。

同時に医学生や多職種の方々にも関心を持っていただくこと、またエコー・ハンズオンセミナーやワークショップも取り入れた実践的学習も企画しました。

新型コロナが未だ収束しない中に、九州各県のみならず九州以外の遠隔の地域からも、100名近くの会場へのご参加があり、総計では310名ほどのご参加をいただきました。

ご参加くださいました皆様お礼申し上げます。また、オン・デマンドで会期後にご視聴くださった皆様ありがとうございます。

今回の大会を担当して、反省すべき点がいくつかあります。

企画にあたっては泰会長が熊本市から遠隔の球磨郡に居住し、コロナ化が収まらない中にオンラインでの実行委員会を7～8回開催しました。中でも、熊本大学の高柳宏史先生が忙しい日常業務の間に企画から具体的な配置まで細かく計画を練ってくださいました。熊本県医師会(事務局)にも会場の使用をはじめ経理のことや当日の受付や会場設営等についてもご協力いただき、大変お世話になりました。

末尾ながら、九州支部長及び事務局には経費のことはもちろん、様々なご指示・ご支援をいただき感謝申し上げます。



### 【九州支部】

熊本県支部よりご報告がありました通り「日本プライマリ・ケア連合学会 第17回九州支部総会・学術大会」を無事開催することができました。熊本県支部 緒方支部長はじめ皆様方には大会準備より開催・運営までご尽力いただきありがとうございました。学術大会では、初日に役員会、2日目に総会を開催いたしました。今後の九州支部発展につながる議論が多く交わされました。

- 令和3年度決算、令和4年度予算について
- 九州支部規則の改定（ホームページへ掲載いたしましたのでご確認くださいませ）
- 令和4年度九州プライマリ・ケア功労者表彰 佐賀県支部 杉岡隆先生



- 名誉会員の 신설 九州支部長として長年にわたり支え、推進いただいた 秦 喜八郎先生（前支部長）
- 九州支部教育・研修支援委員会創設について

